主機関の効力試験（係留運転）チェックシート（受検者用）

船舶検査済票番号：　　　　　　－　　　　　　　　　 主機関製造者名：

船名：　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　 主機関型式：

試験実施日：　　　　年　　 　月　　 　日 主機関(回転数／出力)：　　　　　　　　　min-1／　　　　　　　　　ｋW

検査方法：　　立会　　遠隔　　記録確認 　　※左記のいずれかに〇を付ける。

＜記載要領＞

各計器の数値等を記載については、船橋あるいは機側に備わっている計器で確認する。なお、計器が備わっていない場合は、記録欄に「－」を記載する。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 試験項目 | 試験等実施時間 | 試験方法 | 判定基準 | 記録 | 判定〇／× | 備考 |
| 急発進防止装置の効力試験 | － | リモコンレバーが前進又は後進に入った状態で、機関始動を試みる。 | リモコンレバーが前進または後進に入った状態で機関を起動した際、機関が起動しないこと。 | － |  |  |
| 運転時間確認 | － | 運転前と運転後の運転時間積算計　(hourメーター)を確認する。 | 現在表示されている時間を確認する。 | 運転前　　　　　　　 Hr運転後　　　　　　　　Hr |  |  |
| 主機関の起動 | － | 主機関を起動する。 | 正常に起動すること。 | 機関回転数　　　　　　　min-1 |  |  |
| 主機関の運転 | 　　　　時　　　分～　　　時　　　分 | アイドリング状態において、機関に異常音、異常振動、油漏れ、冷却水漏れ、排気ガス漏れ等が無いことを確認する。運転時間は最短でも５分程度とする。 | アイドリング状態において以下の事象が生じていないか確認すること。・機関回転数が安定しているか。・異常音が生じていないか。・異常振動が生じていいないか。・油漏れはないか。・冷却水漏れはないか。・排気ガス漏れはないか。・冷却水吐出圧が十分であること。・排気管から放出される煙について、著しい黒煙、白煙が生じていないか。・警告灯が点灯、警報が発生していないか。 | 機関回転数　　　　　　　min-1 |  |  |
| 主機関の停止 | － | 主機関を停止する。 | 運転中、正常に停止できることを確認する。 |  |  |  |
| バッテリー | － | バッテリーのケーブルの接続状態及び充電状態の確認 | バッテリーにケーブルが確実に取付られていることを確認する。バッテリーの劣化が見られないことを確認する。 |  |  |  |